

【報告事項】

特定非営利活動法人 S-space

2019 年度 活動計画

1. 活動計画書
2. 活動予算書
3. 理事会での検討事案
 - ・新規事業について
 - ・就業規則の見直しについて

2019年度 NPO 法人 S-space 活動計画 (2019年4月1日～2020年3月31日)

【2019年度 事業の方向性】

今年度は、新規事業として芦屋市内4校の小学校内の学童保育事業をスタートしたことで、既存の部署での所属児童の増加に伴い、パートを含め40名の新規職員の採用を行った。また、法人内で長く務めるパート職員を非常勤・常勤職員へ雇用形態の転換を促すなど、法人内でのキャリアアップ・処遇改善にもつながった。今年度は、新規職員のみならず、管理職となった職員への意識の改革も必要であり、人材育成にも力を注いでいく。これまでの法人の在り方を再認識するとともに、新しい提案や方法を加味していくことで、職員全員が、子どもや保護者の成長に関われる喜びを感じられるよう、職務に対するやりがい・充実感を得られる取り組みも行い運営していきたい。

◆ 本部事業 活動計画

	内 容	方 法
事務局	就業規則の見直し	在籍職員の雇用形態、条件に見合った内容に改変していく必要性が出てきた。社労士に相談しながら理事会に諮り、職員がより働きやすい環境を作る。
	事務局体制の見直し	NPO 法人の規模が倍増したため、本部機能を持つ事務局を新規の芦屋学童内で機能させることが必至。
	人材育成に関する準備	新規職員、キャリアアップ後のリーダー研修など、人を動かす管理職に就いたものへのフォローも必要。 法人内研修の機会を設けられるよう計画する。
	システムの導入	昨年度同様に、勤怠管理・経費関連の簡素化及び簡略化、経費の削減、危機管理、情報のデータベース化等を引き続き改善できるよう努める。
他団体との協働	神戸こども E C O チャレンジ 2 1 倶楽部	児童館出前エコ教室「出張！どんぐりマーケット」を予定。
補助金事業	兵庫県冒険ひろば事業 名称「みんなでわんぱ～く」	公園内でのプレーパーク活動。主力スタッフの育成を行う。灘丸山公園（毎水曜日）、大和南公園（月1回土曜日）計52回開催予定。 ※昨年度より、会計的には野外活動部門で集計している。
	美緑化ボランティア助成 プレーパーク開催の公園管理会を運営	灘区内で唯一プレーパーク活動を行っている団体となっている。地域連携を図り、公園利用を更に活発化させたい。 ※昨年度より、会計的には野外活動の部門で集計している。
新しい取り組み	新規事業に関する準備ほか	新規事業に関する申請書等の作成。芦屋学童の運営に関する会計、勤怠管理面での指導、フォローを行う。

◆学童保育事業 活動計画…摩耶学童保育所・たつのご学童保育所

平成 31 年 4 月時点

	摩耶学童保育所	たつのご学童保育所
在籍人数実績 () 内は加配対象者	54 人 (0 名) ※H30 年度 4 月より 1 人増	61 人 (0 名) ※H30 年度 4 月より 1 人増
在籍児童校区	摩耶小・美野丘小・福住小・海星女子	成徳小
運営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる小学校、異年齢の子ども達の絆をより深める ・地域との交流を深め、より連携を取る ・スタッフの技術向上に努める ・落ち着いた環境でホッとできる居場所づくりを続ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活を行う場として改めて生活の中のルール確認していくが、子どもたちが息苦しさを感ずることなく安心して過ごせる居場所であるよう努める ・引き続きスタッフの確保に努める
今年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・学年を超えた関わりの企画立案 ・行事の企画運営を増やす (季節の工作・高学年会議等) ・小学校行事への協力を続ける (お祭のブース出店のびのびひろばへの協力等) ・非常時・災害時の訓練の実施 ・備品購入、物品の整理・修繕などを行い、室内の環境を整える 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生を中心に4年生・5年生を高学年としてより自覚を持ち仲間と助け合い、まとめる力を養えるようにする ・長期休暇(特に夏期休暇)を安全に過ごせるよう配慮しつつ、前年度までとは異なるプログラムを模索する ・非常災害対策マニュアルの見直し

◆ 児童館事業 計画…六甲道児童館（成徳学童保育コーナー）

	幼児クラブ	放課後児童クラブ	その他（午前中）
在籍数	<ul style="list-style-type: none"> ● すこやかクラブ 計 48 組 ※うち双子 2 組 2 歳児クラスもも（水曜）15 組 すみれ（水曜）15 組 2・3 歳児クラス ゆり（木）18 組 ● キッズクラブ 計 未定組 	<ul style="list-style-type: none"> ● 六甲道児童館 7 小学校 ● 1 年～6 年 123 名 （成徳・灘・鶴甲・六甲山・甲南・神大付属） ● 成徳学童保育コーナー 1 年～6 年 72 名 成徳小学校のみ 	<ul style="list-style-type: none"> ● ふらっと ● そよかぜ ● なかよし ● あかちゃんふれあいタイム ● あかちゃんのおへや等 <p>約 100 回程度</p>
今年度の傾向	他地域の乳幼児利用（特にすこやかクラブ）が減少する中で、当館は多くの乳幼児が利用する。六甲道児童館だけの事業にとどまらず、地域のニーズをキャッチしながら、今の小地域における子育て支援拠点として何が出来るかを常に考え、実現し他の児童館とも連携しながら進めていく。学童保育に関しては本館・コーナー共に過密状態が続き、神戸市としては本館の分室を新しく作る方向性で進めている。移設することで、地域にとっても子どもたちにとっても過ごしやすい場を目指す。		
運営面での目標	放課後児童クラブの安心安全の居場所を担保するとともに、本来の児童館の役割、新しい地域ニーズを感じながら事業を展開する中で、神戸及び全国の児童館と協力・連携しながら地域における児童館の役割を模索していく。		

◆ 児童館事業 計画…鶴甲児童館（鶴甲学童保育コーナー）

	幼児クラブ	放課後児童クラブ	その他（午前中）
在籍数	<ul style="list-style-type: none"> ● すこやかクラブ 計 9 組 	<ul style="list-style-type: none"> ● 鶴甲学童保育コーナー 2 小学校 1 年～6 年 93 名 （鶴甲・六甲山） 	<ul style="list-style-type: none"> ● なかよしひろば <p>約 75 回</p>
今年度の傾向	今年度も児童館の耐震化の問題もあり、平成 30 年度と同じように午前のすこやかクラブ・キッズクラブやなかよしひろば、館外で行う行事、学童保育クラブの運営が主になる。館内行事が出来ない中、一般来館で遊びに来てくれる子ども達や保護者の方を大事にしつつ、次年度に鶴甲会館内へ移る為の準備や、年間行事の見直し等を進めていく。 学童保育コーナーは新コーナー長を迎え、新しい風を吹き込んでもらい、コーナーでの子どもたちの過ごし方や職員の働き方について見直しをしていく。子ども達の人数が大幅に増加し、より過密となった状況の中、何よりも重要な「安心・安全」を柱に、子どもたちが切磋琢磨しながら自分で考え、工夫できるよう親切すぎない学童保育を目指す。また、引き続き「専有スペースの確保」、「学校の正門を使用」等数々の懸案を神戸市や小学校と行い子どもたちにとって安心、安全な学童保育コーナーを目指す。		
運営面での目標	今年度の目標は『チームワーク』 昨年度は年度の途中で職員の退職が相次ぎ厳しい状態だった。職員の団結なくして子どもたちの健全育成はできないと考える。互いに声を掛け合える関係性の再構築を目標とする。子どもへの対応は結果となって現れると信じている。		

◆中高生居場所事業 活動計画…ユースステーション灘・ユースステーション北神

共通目標	単なる居場所に留まらず「困った時にはユースできいてもらおう！」と青少年から頼りにされるユースステーションを目指す。青少年が困った時に頼れる場所や人でありたい。そのためには青少年の困りに気付けるスタッフの育成にも力を注ぎたい。また、企画面ではユースからの企画だけではなく、学生から企画が持ち込まれ、最終的には委員会なるものが立ち上がり、企画・立案そして実行へと結びつくような学生からの自発的な企画が出来上がることを先の長い話ではあるが目標としたい。
事業所別活動計画	<p>【ユースステーション灘】</p> <p>コミュニケーションスペースとしての役割を大切に、子ども同士やスタッフとも交流しやすい雰囲気作りや企画を準備するとともに、スタッフと共通認識を持てるような体制作りに取り組む。</p>
	<p>【ユースステーション北神】</p> <p>事業計画は、昨年と同様の実施を計画。来所者のニーズに合わせ柔軟な対応を心掛けたい。来所者への対応について、ユースは青少年が自由に活動する場所ではあるので、青少年の言動にはアンテナを張り、気になる様子が見受けられた時には個別で話しを聞き、必要に応じて小・中学校と連携し、青少年には見えない所でのサポートも心掛けたい。ただし、高校生は学校との連携が難しいので先に述べた通り心に寄り添える関係づくりを心掛けたい。キッズは自由に来所し過ごすという特質上、見守りが中心となるが、お母さんや乳幼児に気掛かりな事があれば保健部に連絡する等、いくつもの目で見守り、必要があれば専門機関へ繋ぐ事も大切な役割だと考える。ユース、キッズ共にスタッフのスキルが鍵となるので月1回のミーティングの実施や些細な事でも共通理解しあえる関係性作りにもより一層、力を入れたい。</p>

◆小規模保育事業 活動計画…スペースかすがのみち保育ルーム

昨年度と同じく保育内容を保護者に発信するとともに生活のリズムや食についての大切さを園だよりや掲示、送り迎えの時に伝えていく。また、家庭での様子を聞き子どものペースに合わせた関わりができるようにする。週に1～3回のパート職員が多いので子どもの様子や保育内容を引き継ぎ共通理解のもと、子どもが安定して過ごせるように工夫していく。自然災害時の見直しを図る。

【保育計画】

園児在籍数 (定員12名)	5月現在 2歳児 6名 1歳児 5名 0歳児 3名 計 14名
職員体制	常勤4名 パート6名
保育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長に合った保育が出来るように、職員間で連携を図り保育環境を整える。 ・野外活動や園外保育を通して自然に触れながら、様々な経験が楽しめるようにする。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・室内、戸外遊びの充実を図る ・個人面談 ・異年齢での活動を充実 ・保育参加 ・提携園と連携を図る ・野外活動 ・運動遊び(夕方月2回) ・親子のふれあい交流会送る会

◆野外活動事業

今年度は、以下の内容の活動を予定している。前年度に申請したニッセイ財団の助成事業が決定したので、活動に関する物品を購入し活動を活発化させ、会員増を目指す。前年度末よりスタッフ配置の関係で、定期プログラム実施に変更があった。今後、スタッフ間でのミーティングをより内容あるものにして各プログラムの質の向上につなげたい。また、ボランティアの育成をするとともに、多くのボランティアがプログラムに継続参加できるよう工夫をする。参加者や保護者の方などにアンケートを実施し、今後のプログラムの充実をはかりたい。

【わくわくキッズ】… 2歳～3歳を対象に、保育園の午前中の保育の一貫として定期的に野外に出かけ自然を味わうプログラム。

【キンダーアフタースクール】…3歳～小学校低学年の子どもを対象に、山や川など（略称 KAS） 自然の中で発見・工夫する力を養うプログラム。

【野外活動】…小学生以上の子ども達を対象に山を中心にハイキングや、飯盒炊爨などを行い、自然体験の中で様々な体験を促し、応用力を育てるプログラム。

【特別プログラム】…春・夏・冬の幼稚園や学校の長期休暇中に行う、自然体験プログラム。
夏休みキャンプ・スキーキャンプ ・ 春休み DAY プログラム

	K A S	野外活動	わくわく キッズ	特別プログラム		
				サマーキャンプ	スキーキャンプ	春DAY プログラム
参加人数 見込み	15人	30人	6人程度	75人	120人	100人
活動期間	第2・3土	月1回日曜	月2回 平日	2019.8月 3回	2019.年末 2020.年始	2020.3～4月 11日間
活動場所	神戸/近隣の 海・川・山	神戸/近隣の 川・山など	神戸/近隣の 川・山など	六甲山 ハチ高原	ハチ高原	神戸/近隣の 海・川・山
活動内容	定期的な活動を通して、自然、仲間に対する思いやりや対応力を育む。各チームの集団としての成長も見守る。	行き先までの移動、登山、飯盒炊爨などの体験を通じ、自主的に行動し周りに対応する力を育む。	季節に合わせた、探検、水遊び、焚き火などの自然の中ならではの遊びや発見を通じ、体力や感性を育む。	宿泊を伴う集団生活、自然との触れ合いを通じ、遊びの中で自主性や体力、工夫する力を養う。	スキーの技術を学び、集団生活をする中で、挑戦する気持ち、体力、工夫する力などを養う。	行き先は話し合いで決定する。春の自然環境を活かし、自然観察、虫取り、探検などを行う。
今年度の 取り組み	長い目で見た子ども達の成長に注目する。親御さんと通年活動の魅力を伝えられるような広報や報告等を心がける。	集団の中だからこそ、子ども達が学びを深められるよう支える。多人数でも子ども達が自主的に活動できるよう工夫する。	自然の中で初めてのことに出会う驚きや発見を大切に、更に積極的に遊び込めるような丁寧な支援に取り組む。	参加者がより主体的に活動し、信頼関係を築くことができるよう、プログラムを見直す。ボランティアの質を上げ本番を迎えたい。	天候や人数規模に関わらず丁寧な対応をできるように、事前の計画やボランティアスタッフの育成を強化する。	リピーターだけでなく初参加の人も来やすいようにする。一人ひとりとのコミュニケーションを大切に、帰宅後や次回に繋がるような支援に取り組む。

◆【新規】学童保育事業 活動計画…芦屋市放課後児童クラブ

芦屋市内の小学校8校のうちの4校（岩園・山手・浜風・宮川小学校）7学級の芦屋市放課後児童クラブの委託業務を開始した。法人運営初の大人数の職員採用となった。これまでの芦屋市の運営体制を引き継ぎつつも、S-spaceの理念に沿って、独自の取り組みも行っていく予定。職員の情報共有の為、毎月、定例のミーティングを行っている。育成にも力を注ぐ。職員の質の向上が必至とされる中で、研修を行うなどで職員の育成にも力を注ぐ。

岩園すぎのこ学級（くるみ・つくし）

2019年4月時点

在籍人数実績 全111人 加配（1年1人4年1人）	くるみ（計57人 男21・女36） 1年18人（男7女11）2年16人（男5女11）3年7人（男2女5） 4年12人（男4女8）5年4人（男3女1） つくし（計54人 男22・女32） 1年17人（男8女9）2年16人（男3女13）3年11人（男8女3） 4年8人（男1女7）5年2人（男2）
在籍児童校区	岩園小学校、山手小学校

山手わんぱく学級

在籍人数実績 全54人 加配（2年1人3年1人）	計54人 男32・女22 1年23人（男13人女10人） 2年17人（男9人女8人） 3年14人（男10人女4人）
在籍児童校区	山手小学校

らいおん学級（みなと・みさき）

在籍人数実績 全69人 加配（3年1人）	みなと（計37人 男17・女20） 1年12人（男6女6）2年11人（男8女3） 3年9人（男3内加配1 女6）4年5人（男0女5人） みさき（計32人 男18・女14） 1年14人（男11女3）2年11人（男3女8） 3年6人（男4女2）4年1人（男0女1）
在籍児童校区	浜風小学校

なかよし学級（さくら・ひつじ）

在籍人数実績 全115人 加配 （2年4人） （3年2人） （4年1人）	さくら（計61人 男28・女33） 1年19人（男8女11）2年20人（男12女8） 3年20人（男8女12）4年2人（男0女2） 加配（2年1人3年1人4年1人） ひつじ（計54人 男30・女24） 1年24人（男12女12）2年13人（男9女4）3年11人（男6女5） 4年6人（男3女3） 加配（2年3人3年1人）
在籍児童校区	宮川小学校

【新規】学童保育事業 活動計画…芦屋市放課後児童クラブ（続き）

<p>運営目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が各自のペースで過ごせるように職員が寄り添い、時には見守り、子どもたちが安心して過ごせる環境を作る。 ・児童が事業に積極的に参画できるよう、児童の「こんな事をやりたい」という思いを大切にし、その「やりたい」を実行できるようにサポートをする。
<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもプラン<子供の参画> <ul style="list-style-type: none"> 希望（やりたいこと）を集める 希望（やりたいこと）を決める 実行委員を決め、行動に移す ・異年齢児との交流を通し、児童に相手の気持ちや立場を考える力を育み、社会性を身につけられるように環境の構築をする。 ・積極的にこちらから他学童やキッズスクエアとの交流が持てるように働きかける。 ・S-space の特色を生かしたイベント（すいか割り、どんぐりマーケットなど）を提案し、近年減少している異年齢児との交流を図りたい。 ・上記の内容を実行していく中で、芦屋市の児童の放課後の過ごし方を安心安全なものへしていく第一歩となるよう進めていく。 ・班活動を通じて、児童のやってみたいを形にしていくサポートをする。 ・日々の交流や行事などを通して、相手の気持ちや立場を考える力を育み、社会性を身につけられるように環境を整える。 ・長い目で見た子ども達の成長に注目し、集団の中で子ども達が学びを深められるよう支え、子ども達が自主的に活動できるよう工夫する。

